

2024年度も名古屋市会議員団との議員懇談会を実施しました

毎年実施している名古屋市会議員との会派別の懇談会を2024年度も実施しました。

日程は、2024年6月20日（木）14：00～自由民主党、15：00～名古屋民主市会議員団、16：00～公明党。2024年6月27日（木）13：00～日本共産党、14：00～減税日本ナゴヤで行いました。場所は名古屋市役所東庁舎内の各部屋（議会運営委員会室、特別委員会室、控室等）で行いました。

懇談会のテーマは、2024年11月頃に名古屋市に提出する陳状書の中の6項目の内、3項目でした。

【議員懇談会テーマ】

(1) 重度心身障害（児）者医療費助成制度に対する名古屋市事業の継続をお願いします。
現状：透析患者数は、全国で347,474人、前年（349,700人）から2,226人減少しました。愛知県では19,257人、名古屋市では5,583人です。全国での平均年齢は69.87才、透析導入年齢平均は71.42才です。（2022年度12月31日）2022年透析導入患者の人数は39,683人です。原因疾患をみると1位が糖尿病性腎症で38.7%、2位が腎硬化症で18.7%、3位が慢性糸球体腎炎で14.0%です。

理由：最近の物価の上昇に加えて、透析患者の高齢化により年金生活者がほとんどである現状で医療費の増額は死活問題です。下記の下記の2項目を含めて名古屋市の医療費助成制度の継続をお願いします。

- ① 自立支援医療（更生医療）の継続をお願いします。
- ② 重度心身障害（児）者医療費助成制度の継続をお願いします。

(2) 透析患者の送迎について助成制度を検討してください。

理由：透析患者の平均年齢が69.87才で、透析導入年齢が71.42才です。長年の透析によるアミロイド沈着等による動脈硬化で足腰が弱くなり、フレイルのリスクも高い患者が多いです。それに加えて高齢化の導入患者が増加し自動車運転免許証の返納者も当然今後も増えていくので通院の手段が施設の無料送迎やタクシーしか無くなってきています。透析施設の無料送迎患者の増加も施設の経営をかなり圧迫していますのでいつまで続くかわかりません。そこで、下記の商品も含めて「施設送迎の助成制度」の検討をお願いいたします。

- ① 透析患者には、現状の名古屋市の「障害者通院支援サービス」の利用が困難のため、歩行に障害がある透析患者の施設の送迎バス、タクシー利用の乗降時（マンション・アパートの場合おりてから自分の部屋までいく場合）の「介助支援制度」の構築をお願いします。

- ② 他の自治体で実施している「福祉特別乗車券」「重度障害者タクシー利用券」の選択項目に「ガソリン券」の追加をお願いします。
- ③ 名古屋市内のタクシー会社の一部で実施されている送迎サブスク（mobi）の支払時（現金払の場合）に「重度障害者タクシー利用券」が使えるように検討を宜しくをお願いします。
- ④ 現在の「福祉特別乗車券」は、「交通系ICカード（mana）」ですが、「重度障害者タクシー利用券」分をチャージして利用できるようにご検討を宜しくをお願いします。

(3) 大規模災害に備え透析患者の生命を守る支援をお願いします。

理由：透析患者は、地震・水害などの災害があっても1週間に3回（4時間～6時間）の透析治療を受けねばなりません。透析患者の命を守るため下記項目を含めた災害支援を宜しくをお願いします。

- ① 災害後、透析施設が早期稼働できるようにライフライン（給水、電気等）の支援を宜しくをお願いします。（透析1人1回に透析液（水）が200リットル必要で、透析液を作るのに電気が必要です。）
- ② 避難所での透析患者へ情報提供・広報を宜しくをお願いします。（透析患者へのフォローも含めて）
- ③ 広域で大災害時の場合、透析患者が透析できるように地域連携と移送を宜しくをお願いします。
- ④ 災害時に透析患者の災害対策がスムーズに実施できるように災害対策会議（名古屋市、施設、患者の3者による）が開かれるようお願いします。（患者会から患者全体に災害における情報提供するため）
- ⑤ 「災害時における透析医療活動マニュアル」を愛知県透析医会と協力して作成し、名古屋市の透析医療施設に配布していただけるようお願いします。

※最後に名古屋市は秋冬1回新型コロナウイルスワクチン接種料金助成で3,800円で65才以上は接種できると聞いていますが、厚労省はコロナワクチンの接種について、料金は自己負担ですが、接種の対象として秋冬1回 60才～64才の基礎疾患のある方と65才以上となっているので、名古屋市の「60才～64才の基礎疾患のある方」も同様の料金でワクチン接種ができるように。と追加要望しました。

【懇談会の意見交換内容（一部）】

内容は、項目1の「重度心身障害（児）者医療費助成制度に対する名古屋市事業の継続をお願いします。」は継続していくと回答を頂きました。項目2の「透析患者の送迎について助成制度を検討してください。」については、ガソリン券についての意見が多く、通院の4割が自家用車で通院しているが、透析患者の高齢化から見るに家族が患者の送迎に

自家用車を使用していると考えられるが、本当に透析患者のためにガソリン券が使われているのかがポイントである。(家族が自分の為に使用する可能性もある?)などの問題点を市会議員から指摘を受けました。重度障害者福祉タクシー利用券とガソリン券の本人の選択肢についての意見もでました。あと、タクシーサブスクの「mobi」はハードルが高い(タクシー業界の赤字問題)ので「GO BUSINESS」の方がハードルが低く「重度障害者福祉タクシー利用券」が摘要しやすいのではないかと意見も市会議員からでました。項目3の「大規模災害に備え透析患者の生命を守る支援をお願いします。」については腎友会の参加者から自分が避難所運営を担当している体験から運営マニュアルの内容が薄いので実際には役にたちにくく、特に我々のような生活・食事管理が必要な障害者(病人)についての細かな内容がないので改善して頂きたいとの意見が最初にでました。災害時の避難所問題では、議員と腎友会の参加者から多くの意見がでました。例として、災害時の避難所について他の自治体に比べ避難所の数が名古屋市は圧倒的に少なく、食事・生活面での対応が不十分。福祉避難所の場所が公開されていず、福祉避難所の数も圧倒的に少ない。などの意見がでました。

最後に懇談会の時間が30分~60分では、毎回、意見交換の時間が少ないとの問題があり、市会議員の皆さんも多忙であることから、腎友会は、懇談会の進行の方法を見直すべきだと感じました。